

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
造形表現指導法	2	後期	演習	1	丸田 多賀美
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ：身近な素材を使って乳幼児の個性的なイメージを共感しながら発展させ、独自の表現を伸ばし、感性を豊かにする。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 幼児の認識, 思考、動きなどを視野に入れた造形表現の重要性を理解している 2) 造形的な幼児の体験を考慮した情報機器及び機材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 3) 造形表現指導案の構成を理解し、具体的に保育を想定した指導案を作成することができる。 4) 造形の授業を通して造形活動を改善する視点を身に付ける。 5) 造形活動の動向を知り、保育構想の向上に活用することができる。 					
<p>○授業の概要</p> <p>造形表現における幼児の発達過程を理解しながら具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：「美術文化との出会い」霧島ジュニア美術展を鑑賞して幼稚園、保育園の子供作品の実態を把握する。</p> <p>第2回：「石ころのおぼけ」①作品例を鑑賞しながら、製作の狙いを理解し、身近な材料を収集する。</p> <p>第3回：「石ころのおぼけ」②指導案を作成し幼稚園現場での授業を想定する。</p> <p>第4回：「石ころのおぼけ」③材料を加工しお互いに創作の手伝いをしながら完成させる（模擬保育）</p> <p>第5回：「石ころのおぼけ」④完成した作品の良さをお互いに評価し、幼稚園での活動に活かす方法を考える。</p> <p>第6回：「落ち葉を使って絵を描こう」①作品例を鑑賞して製作の狙いを理解する。</p> <p>第7回：「落ち葉を使って絵を描こう」②制作工程を理解して材料を収集し、構想を練る（模擬保育）</p> <p>第8回：「落ち葉を使って絵を描こう」③形の面白さを考えてハサミを利用し、糊で貼る（模擬保育）</p> <p>第9回：「落ち葉を使って絵を描こう」④完成した作品の良さを互いに評価し、幼稚園での活動に活かす方法を考える。</p> <p>第10回：「子供たちと似顔絵制作会」①作品例を鑑賞して制作と指導の狙いを理解する。</p> <p>第11回：「子供たちと似顔絵制作会」②制作を通して顔の表情を描くポイントを理解する。</p> <p>第12回：「子供たちと似顔絵制作会」③制作を通してクレヨンの技法、表現の多様性を学ぶ。</p> <p>第13回：「子供たちと似顔絵制作会」④指導案を作成し幼稚園現場での授業を想定する。</p> <p>第14回：「子供たちと似顔絵制作会」⑤実際に園で子供たちと制作会をする。（実践）</p> <p>第15回：「子供たちと似顔絵制作会」⑥実践経験を踏まえて、幼稚園現場での活動に活かす方法を考える。</p>					
<p>○テキスト 幼児造形の基礎 <乳幼児の造形表現と造形教材> 樋口一成編著 萌文書林 プリント</p>					

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

提出物 80% レポート 20%